

自分でできる”薬の情報”管理

①薬の情報とは？

皆さんが飲んでいるあるいは使っている「薬の名前」と「用法・用量（どう・どれくらい飲むか、あるいは使うか）」です。例えば糖尿病の薬の一つを例に上げると”薬の情報”は次のようなものです

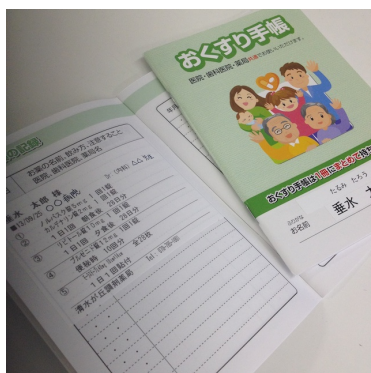


「薬の名前」 アマリール錠1mg
(量が0.5mgも3mgの物もあります)
「用法用量」 1日1回 2錠を夕食後に服用

この”薬の情報”がわかれば医師、薬剤師はあなたに正しいお薬をお渡しできます。

②薬の情報はどこに入っている？

お薬手帳



病院や薬局から発行される”薬の情報”を記録するための手帳です。手帳があるとどのような薬を飲んでいるかだけでなくどれくらいの期間飲んでいるかも確認できます。

お薬の説明書（薬情、薬剤情報提供書）



お薬の一覧表です。薬のカラー写真等がついたり代表的な副作用や使用上の注意が記載されている場合があります。

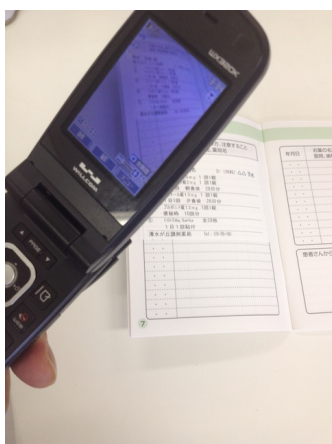
③薬の情報を身の回りに置く

避難袋・お財布など



非常時に持ち出すもの、常に持ち歩いている入れ物に”薬の情報”を入れて身の回りに置いておく。

携帯電話で「お薬の手帳」、「薬の写真」を撮影しておく



災害時でも携帯している機会の多い携帯を活用し、カメラ機能付きの携帯で撮影しておく。

”薬の情報”を離れた親族、知り合いに預ける



親や子供の薬の説明書等をFAXで予め送っておくなどすれば、いざというとき電話やFAXにて薬を確認することができます。

可能なものから利用してください。

現在の情報であることが必要です。

今と異なる”お薬の情報”はかえって危険な場合があります。